写真で知る、難民のいま
ーすべての難民がその日までー
難民でなくなる

6/20
世界難民の日
連動企画

戦禍を逃れて――母と子の旅路

2022年2月24日、
ロシアがウクライナに軍事行動を開始し、
多くの人が故郷を追われた。

3歳と3カ月の幼い命を抱え、
着の身着のままハンガリーへとたどり着いた母親。
避難先に安全を求めて、
必死に子どもの未来を守ろうとしている。

いま、世界の難民の約4割が18歳未満の子どもたち。
彼らの歩む道が、希望へと続くように、
UNHCRは支援を続けている。

砕かれた日常、さまよう命

2024年11月30日、レバノンの空に爆音が響いた。
この爆撃によって、3700人を超える命が奪われ、
多くの人々が命がけでシリアや隣国へと逃れた。

レバノンは、もともと戦禍を逃れたシリアの人々を
約100万人も受け入れていた国だった。

愛した町、慣れ親しんだ家、
夢を追いかけた仕事や学校、
そして、笑い合った家族や友人との時間。

すべてが、一瞬にして失われた。

世界難民の日に合わせ、難民問題への理解を深めるとともに、多文化共生や平和について地域の皆さまと共に考える写真展を開催します。

ウクライナやレバノンなど、突然日常を奪われ、故郷を追われた人々の姿。

本展示をきっかけに関連書籍や資料にも触れ、国際社会への関心と学びを深めてみませんか。

写真提供・協力：国連UNHCR協会

会場
こもれびパーク
交流サロン・ラーニングコモンズ

入場無料

6/13(土) トークイベント同時開催

2026
5/28(木) ― 6/13(土)

平日　10：00～21：00
土曜日　9：00～21：00
日曜日 10：00～18：00

主催：こもれびパーク・別府市立図書館

こもれびPARK
COMOREBI PARK

〒874-0903　大分県別府市大字別府字野口原3013番1
【事務局】TEL.0977-75-7666

別府市立図書館
Beppu Public Library